

数学

<全体分析>

試験時間	120 分	解答問題数	5 題
------	-------	-------	-----

解答形式 短答式、記述式（解答の導出過程を書く設問と証明を書く設問が 1 問ずつあった）
分量・難易（前年比較） 分量 減少 ・やや減少・変化なし・やや増加・増加 難易 易化 ・やや易化・変化なし・やや難化・難化 例年に比べて、問題量、計算量ともに減少した。設問の内容もシンプルなものが多かった。
出題の特徴や昨年との変更点 例年、第 1 問は 3 つの独立した小問で構成されていたが、今年度の第 1 問は小問集合ではなかった。
その他トピックス 第 1 問(4)でズバリ的中あり。数学Ⅲ、数学 C の出題の比重が高い。

<大問分析>

問題番号	出題分野・テーマ	範囲	コメント（設問内容・答案作成上のポイントなど）	難易度
1	図形と方程式	数学Ⅱ	円と直線の共有点の個数 円が直線から切り取る線分の midpoint の軌跡	やや易
2	微分法 ベクトル	数学Ⅱ 数学C	立体の体積が最大になる条件 直線に下ろした垂線と直線との交点 平面に下ろした垂線と平面との交点	易
3	場合の数と確率 積分法	数学A 数学Ⅲ	硬貨を n 回投げたときの表が出る回数に関する確率 区分求積法	標準
4	式と証明 複素数平面	数学Ⅱ 数学Ⅲ	二項定理を用いた和の計算 複素数平面上の 2 直線が垂直であることの証明 複素数平面上における点列が作る多角形の面積	標準
5	複素数平面 三角関数 平面上の曲線 積分法	数学C 数学Ⅱ 数学C 数学Ⅲ	ド・モアブルの定理 半角の公式 正葉曲線（バラ曲線）の極方程式 正葉曲線（バラ曲線）の一部と x 軸で囲まれた部分の面積	標準

※難易度は 5 段階「易・やや易・標準・やや難・難」で、当該大学の全統模試入試ランキングを基準として判断しています。

<学習対策>

数学Ⅲ、数学 C を中心に、ねばり強い計算力が求められている。教科書の学習にとどまらずに、標準的、典型的入試問題を集めた問題集に取り組んで、実力を伸ばしていこう。計算力だけでなく深い分析力、思考力を問う問題が出題されているので、問題集に取り組む際にはじっくり考えて自力で答を導くことが重要である。
--